

平成 30 年度 自 己 評 価 表

江田島市教育委員会

| | 中期経営目標 | 短期経営目標 | 評 価 項 目 | 評価指標 | 実績値 | 目標値 | | 評 価 (自己評価の結果) | 改 善 策 |
|---------|------------------------------|------------------------------------|--|--|--|------------------------------------|------------------------------------|------------------|-------|
| | | | | | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 | | |
| 学 校 教 育 | 教職員の服務規律の厳正確保を図る。 | 教職員による不祥事を0（ゼロ）にする。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 各校が実施した服務研修の好事例を市主催研修において活用し、各校の服務研修に生かせるようにする。 ○ 5月を「不祥事根絶強化月間」とし、重点的な取組を行う。 ○ 全児童生徒、保護者、教職員に「体罰」「セクシュアル・ハラスメント」のアンケートを毎学期実施する。 | 懲戒処分件数 | 0件 | 0件 | 0件 | | |
| | 児童生徒の学力の向上を図る。 | 習得した知識・技能を活用する力を向上させる。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「学びの改革」推進協議会を活用し、主体的な学びを促す授業改善について指導助言を行う。 ○ 各校で学力調査を実施・活用させ、学力の定着・課題の克服が図られるよう指導助言を行う。 ○ ICT活用事業(市町挑戦加配)、理科教育推進事業(市町挑戦加配)、外国語指導事業を実施する。 ○ 学力向上に関する先進校を視察する。 | 全国学力・学習状況調査(B問題)の平均正答率 | 小6 国語(+3.5) 算数(+3.1) 中3 国語(+3.8) 数学(▲0.1) | すべての実施教科で全国平均を4ポイント以上、上回る。 | すべての実施教科で全国平均を5ポイント以上、上回る。 | | |
| | 児童生徒の豊かな心を育成する。 | 不登校児童生徒数を減少させる。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 9月を「いじめ撲滅月間」とし、児童生徒主体の重点的な取組を行う。 ○ 全児童生徒に「いじめ」のアンケートを毎学期実施する。 ○ 市主催研修(管理職、生徒指導主事対象)において、生徒指導体制の確立における講話を行う。 ○ 不登校傾向の児童生徒の状況を把握しながら、欠席日数が30日を超える前の段階で、各校の実態に応じた指導助言を行う。 | 不登校児童生徒の割合 平成 28 年度(全国) 小学校 0.48% 中学校 3.01% | 小：0.12% (1人) 中：2.73% (11人) | 小：0.00% (0人) 中：1.00% (4人) | 小：0.00% (0人) 中：0.50% (2人) | | |
| | 江田島の「食」について知り、故郷への愛着や誇りを育てる。 | 児童生徒が地場産品を知っている割合の増加を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 地場産品について、市内各学校で給食指導や食育活動を行う。 ○ 「おいしい江田島の日給食」を年2回実施し、江田島産品を積極的に使用する。 ○ 市長部局(健康推進課)と連携し、「えたじまん食育レシピ」2万食プロジェクトを実施する。 ○ 学校給食だよりで周知する。 | 児童生徒が地場産品を知っている割合 | 0% | 25% | 50% | | |
| 生 涯 学 習 | 歴史資料館の活性化を図る。 | 学びの館、大柿地区歴史資料館(灘尾記念文庫)の来場者数の増加を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 企画展「灘尾弘吉展(仮称)」を行う。(大柿地区歴史資料館) ○ 文化財等の展示企画を充実させる。 ○ 歴史に関する講座を企画する。 ○ 市民ギャラリーやものづくり教室の充実を図る。(学びの館) ○ 広報の活用や学校への呼びかけ等により、PR強化を図る。 | 来場者数 (学びの館) (大柿地区歴史資料館(灘尾記念文庫)) | 9,161人 2,111人 | 9,200人 2,200人 | 9,300人 2,300人 | | |
| | 公共スポーツ施設の利用促進を図る。 | スポーツセンターの利用者数増加を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 江田島市ゆかりのスポーツ選手の紹介を行う。 ○ スポーツイベントに合わせ、バブリックビューイングを開催する。 ○ 障害者が気軽に参加できるスポーツの紹介などに取り組む。 ○ 運動機器の使用マニュアル及び運動機器を使用したトレーニングメニューを作成する。 ○ トレーニング室を利用した健康教室を行う。 ○ 広報等の活用により、PR強化を図る。 | 利用者数 スポーツセンター(内トレーニング室) | 33,496人 (8,458人) | 34,500人 (8,700人) | 35,500人 (8,800人) | | |
| | 図書館の充実を図る。 | 図書館年間貸出冊数の増加を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 2館2室合同の「スタンプラリー」を夏季休業中に実施する。 ○ 読書記録をためるための「読書貯金通帳」(大人・子ども用)を配布する。 ○ 小学校高学年対象の「子ども司書」養成講座を実施する。 ○ 子ども読書活動推進計画に基づき、家庭教育支援として読書活動をテーマとした参加型プログラム及び読書ボランティアによる「おはなし会」を実施する。 ○ 利用案内チラシを作成するなど、再度PRの強化を図る。 ○ 図書を受渡し窓口(貸出・返却)の拡充を図る。 | 年間貸出冊数 | 100,581冊 | 114,000冊 | 115,000冊 | | |